

さっぽろし せんりやく
札幌市まちづくり戦略ビジョン
アクションプラン2015

へいせい ねんど
(平成27~31年度)

~つづける、つなぐ、つぎへ~

せかいとし
世界都市としての
みりょく かつりょく
魅力と活力を
そうぞう つづ まち
創造し続ける街

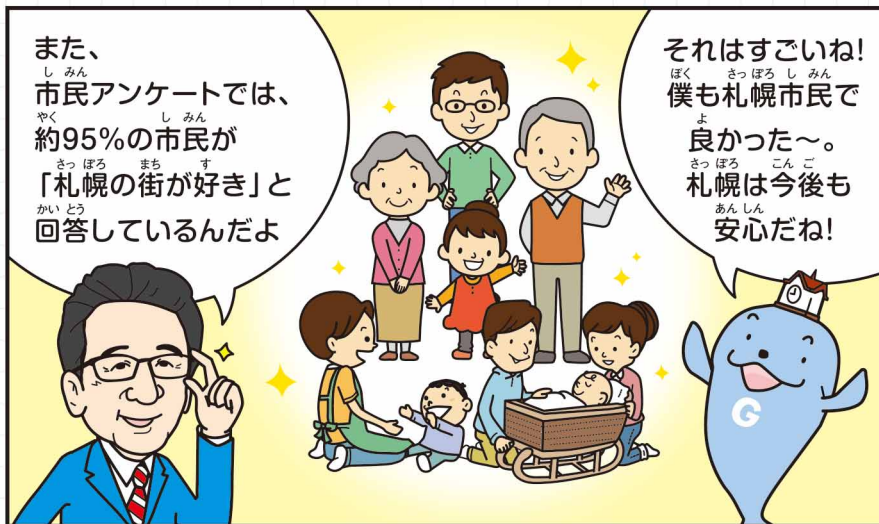
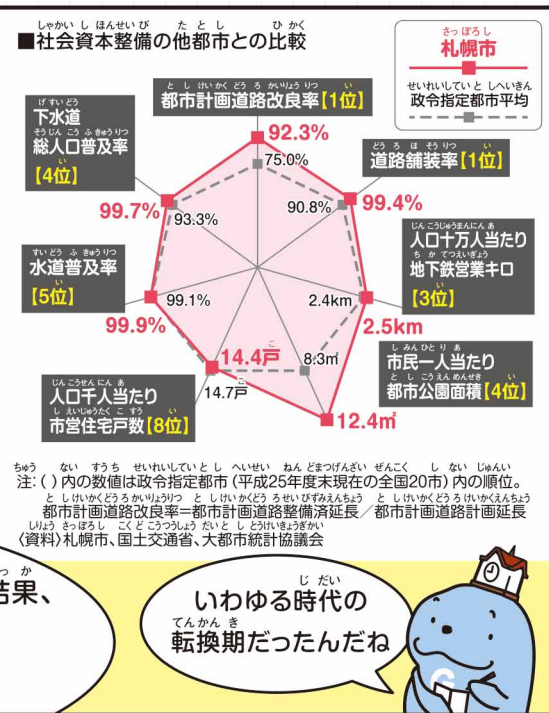
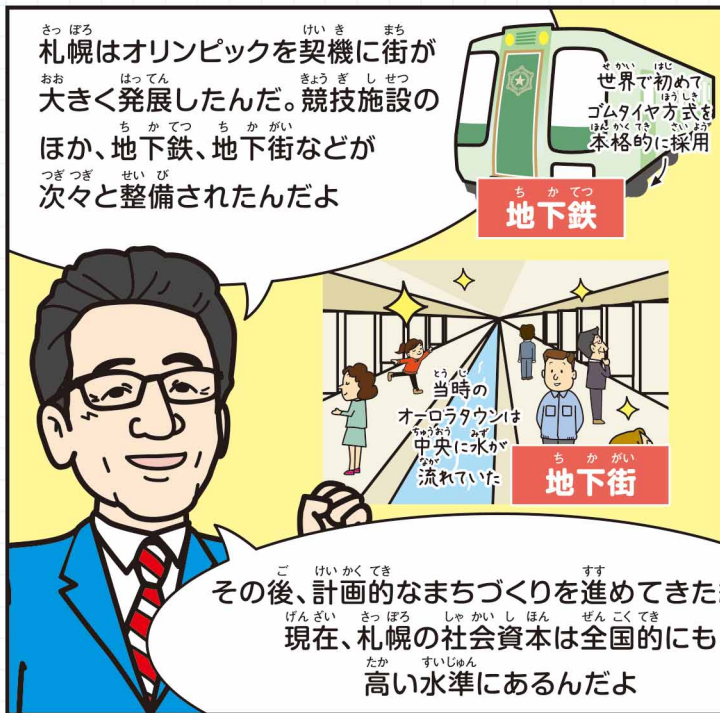
だれ あんしん
誰もが安心して
く しょうがいげんえき
暮らし生涯現役として
かがや つづ まち
輝き続ける街



← ギュウ太 →
みなみく たいこ かせき ほっけん
南区で太古の化石が発見されたジュゴン
なかま しそん
の仲間「サツポロカイギュウ」の子孫。

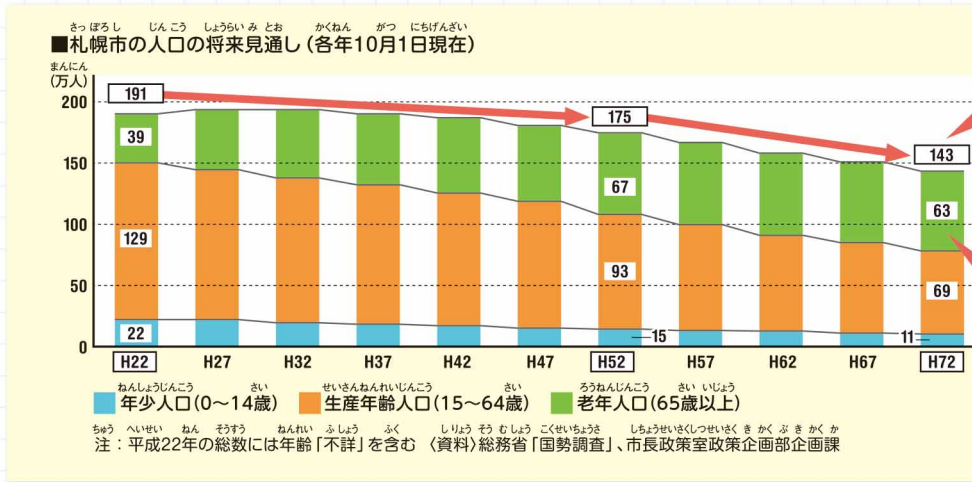
あきもと しちよう
秋元市長 →
へいせい ねん がつ さっぽろしちよう しゅうにん
平成27年5月に札幌市長に就任。
にちや さっぽろ まち かんが
日夜、札幌の街のことを考えている。

札幌は転換期を迎えている!?



① 平成27年前後をピークに人口減少を迎える

生産年齢人口の減少による経済規模の縮小や高齢化による社会保障関係費の増加が懸念されます。



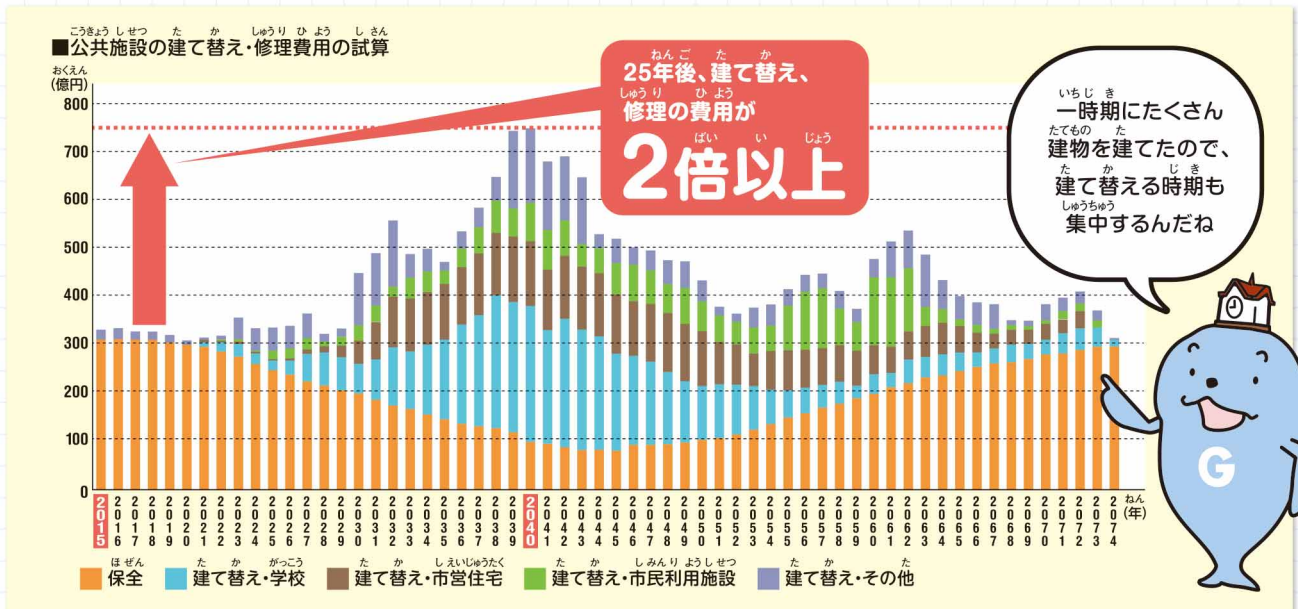
50年後
約50万人も減少

人口の4割超が高齢者に

② 都市基盤が一斉に更新時期を迎える

公共施設は、1972年の札幌冬季オリンピック開催や政令指定都市への移行を契機に急速に整備が進み、それらが一斉に更新時期を迎えるため、短期間にたくさんの建て替え・修理費用が掛かることが懸念されます。

※都市基盤：鉄道・道路・上下水道・公園・緑地・学校や区役所などの建築物など、都市を構成する基盤となる構造物。



このような課題を解決するためには、遠い将来を見据えながら、今何をすべきか考えていかなければならないんだ。
私は、このような難しい時代を札幌冬季オリンピック開催に次ぐ、「転換期」と捉えているんだ

秋元市長が目指す2つの未来の札幌の姿



じん こうげんしょう こうれい か と し き ばん いっせいこうしん
人口減少・高齢化や都市基盤の一斉更新って、
さっぽろ 札幌にとっては、良いことがあまり無いのかな？



いえ、そんな時代だからこそ、街をつくり替えていくチャンスと言うこともできるんだ。
施設の更新というハード面だけでなく、子育てしやすいまちづくりや誰もが健康で安心して
暮らせるまちづくりなど、ソフト面においても札幌の魅力を高める新たな取組を行い、
2つの未来の札幌の姿を目指していくよ

相互に関係し合い高め合う2つの未来の札幌の姿

せ かい と し
世界都市としての
み りょく かつりょく
魅力と活力を
そ う ぞう つつ まち
創造し続ける街

あたら とりくみ ちようせん こくない こくがい
新しい取組に挑戦し、国内や国外
ひと あつ さまざま かつどう おこな
から人が集まり、様々な活動が行
われ、世界から「魅力あふれる都
市」といわれる街を目指します。

だれ あん しん く
誰もが安心して暮らし
しょうがい げん えき
生涯現役として
かがや つつ まち
輝き続ける街

さっぽろ す ひと だれ
札幌に住むあらゆる人が、誰かに
ひつよう あん しん
必要とされ、安心していきいき
せい かつ さっぽろ し めん
と生活し、札幌市民であることに
ほこ も まち め ざ
誇りを持てる街を目指します。



まちづくりの
好循環

ひとびと かつどう
人々の活動で
まち かつせい か
街が活性化

だれ
誰もが
げん き かつやく
元気に活躍

せ かい と し
世界都市としての
み りょく かつりょく
魅力と活力を
そ う ぞう つつ まち
創造し続ける街

たと えば、まち のみ りょく を
たか げる 観光 イベント
じつ し
などを実施すると...

かんこうきゃく ふ
観光客が増え、
いんしよくでん
飲食店や
しゆくはく し せつ
宿泊施設の
りよう ぞう か
利用が増加



し ない で まわ
市内に出回る
かね
お金が増える



けいざい
経済の
かつせい か ぜいしゆう
活性化や税収・
こ ぞう か
雇用の増加、
ふく し じゅうじつ
福祉の充実



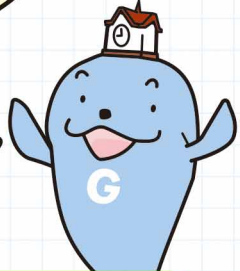
だれ
誰もが
あん しん く
安心して暮らし
しょうがい げん えき
生涯現役として
かがや つつ まち
輝き続ける街

ふた みらいぞう たが よ えいきょう あた あ まち ほんてん
2つの未来像がお互いに良い影響を与え合って、街が発展していくんだね！
でもこれを具体的にどうやって実現していくの？



この2つの「未来の札幌の姿」を実現していくため、今後5年間のまちづくりの取組をまとめた「アクションプラン2015」を作成したよ

へえ、なるほど。じゃあ、アクションプランの特徴は？



アクションプラン2015の特徴

① 全ての政策的事業を網羅し、建設事業費は年1,000億円を確保

政策的事業697事業、総事業費1兆3,257億円を計画化

計画事業費	計画事業費		年次割				
	事業数	事業費	H27	H28	H29	H30	H31
	697	13,257	2,477	2,821	2,775	2,631	2,554

建設事業費（一般会計）は、学校や道路、公園などを計画的に維持・更新していくため極力平準化し、計画期間を通して年1,000億円規模を確保

建設事業費（一般会計）	事業費	年次割				
		H27	H28	H29	H30	H31
	5,637	1,013	1,305	1,262	1,053	1,005

地元建設業界による中期的視点に立った人材確保や設備投資をしやすくし、冬期間の除雪など安全・安心な市民生活を支える業界の体制強化へとつながるよう、建設事業費を明示しました



② 実効性を担保する中期財政フレームを設定

計画期間における全ての歳入と歳出を推計した「中期財政フレーム」を設定し、計画の実行性を担保

③ 人口減少対策・地方創生に関する取組を具体化

「さっぽろ未来創生プラン（※1）」の施策に基づく事業を可能な限り計画化



（※1）札幌市の人口の現状を分析するとともに、人口の将来展望と今後目指すべき将来の方向や平成27年度から31年度までの5カ年の基本目標、施策などを示す計画。現状の合計特殊出生率1.16（平成26年）を平成42年までには市民の若い世代の結婚や出産の希望が実現した場合の出生率である希望出生率の1.5まで上昇させることを目指している（平成31年の目標値は1.36）。

人口減少対策に積極的に取り組んでいく意味もあるんだね

次のページから、計画期間内に重点的にとり組む「4つの重点課題」とこれをけん引する「5つのリーディングプロジェクト」、さらにそれを推進する「16の事業」を紹介するよ！

重点課題1 雇用を生み出す力強い街さっぽろをつくる

おもてなし・観光強化プロジェクト

若い世代が札幌で生活していけるよう、
安定的な雇用の場を確保していくため、
市内経済の活性化を図ることが重要です。
そのため、様々な業種に経済効果が波及する
裾野の広い「観光」に力を注いでいきます。

人口減少局面を打開して
いくため、交流人口※を増やし、
外からお金を獲得できる
観光産業に力を入れていくよ



※交流人口：観光者などの一時的・短期滞在からなる人口。定住人口に対する概念。

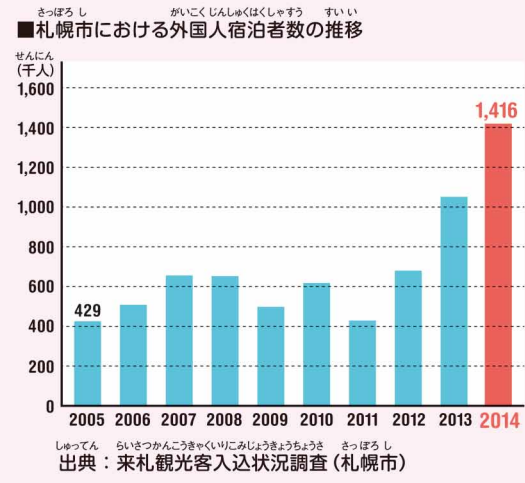
おもてなし・人材育成事業

市民のおもてなし意識の醸成や事業者のサービスアップ、観光ボランティアの活動支援を通じて、観光客の受入環境を強化し、来客者の満足度向上につなげます。

【事業費】1億3,100万円

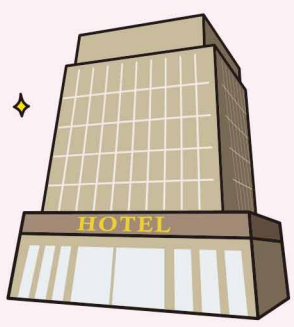


増加している観光客の満足度を高めるため、
市民・企業・行政が一丸となって、
おもてなしのうねりを創出していきます



宿泊施設民間投資
誘発事業

観光消費額の大きい外国人富裕層などの受入環境整備を促進するため、宿泊施設が行う客室グレードアップにつながる増改築などを支援する制度を創設します。

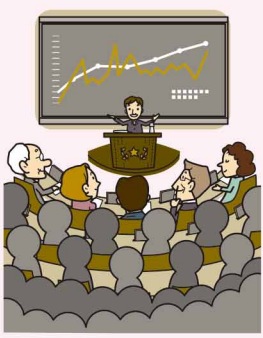


H31年度
支援件数
累計4件

【事業費】3億6,400万円

MICE※施設整備事業

大規模な国際会議などを積極的に誘致するため、新たなMICE施設の整備に向けた検討を進め、平成29年度に基本計画を策定します。



MICEは
経済効果が高く、
不況にも強いとい
言われていて、
経済の活性化に
有効なんだ

【事業費】2,900万円

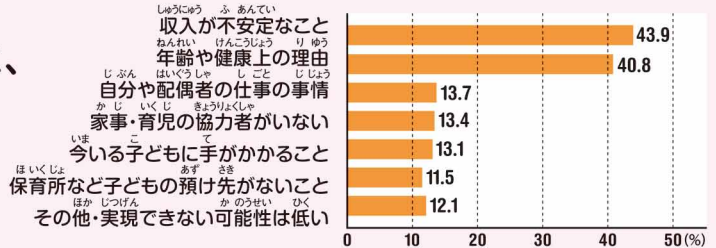
※MICE：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

リーディング
プロジェクト
2

重点課題2 女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街さっぽろをつくる
子育て世代応援プロジェクト

子育て世代が安心して
子どもを育てていけるようにするために、
子育てに関する経済的負担を軽減し、
社会全体で子育て世代を応援する
環境を整えていきます。

■札幌市の女性の予定子ども数を実現できない場合の理由別割合



出典：平成27年アンケート調査（札幌市）

第2子以降の保育料無料化事業

これまでの第3子以降に加え、最も保育料の高い3歳未満児童を対象として、平成29年度から第2子についても保育料を無料化し、経済的負担を軽減します。

【事業費】16億5,500万円



H29年度
無料化

子ども医療費助成制度の拡充

子育て支援環境の充実を図るため、現行制度で就学前児童の入院・通院と小学生・中学生の入院を助成対象としている子ども医療費助成について、新たに小学1年生の通院を助成対象とします。

【事業費】164億1,700万円

■助成対象

	通院	入院
未就学児	対象	対象
小学生	対象外 →新たに1年生を対象	対象
中学生	対象外	対象

H30年度
対象拡大

**札幌市高等学校等
生徒通学交通費助成事業**

札幌市内に居住し、公共交通機関を利用して石狩管内の高等学校などに通学生徒に、通学に要する交通費のうち基準額を超える額の1/2を助成します。



【事業費】2億600万円

H30年度
助成開始

**仕事と暮らしの
ライフプラン支援事業**

札幌の未来を担う若者たちが、仕事と暮らしの調和したライフプラン※を実現できるよう、さまざまな情報発信を行うとともに、育休代替職員雇用への助成(平成28年度開始)など、企業に対する支援を充実させます。

※ライフプラン：自分らしく
幸せに生きるための人生設計。

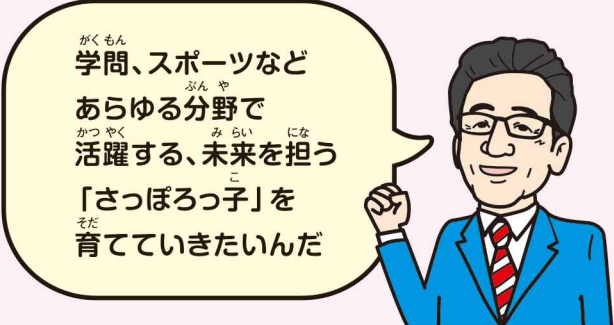


【事業費】1億5,200万円

重点課題2 女性が輝き子どもたちが健やかに育つ街さっぽろをつくる

未来を担う「さっぽろっ子」育成プロジェクト

子どもたちが自らの可能性に気づき、
成長していくための機会を増やすとともに、
生まれ育った環境で
将来を左右されることなく、
自ら未来を切り開いていけるよう支援します。



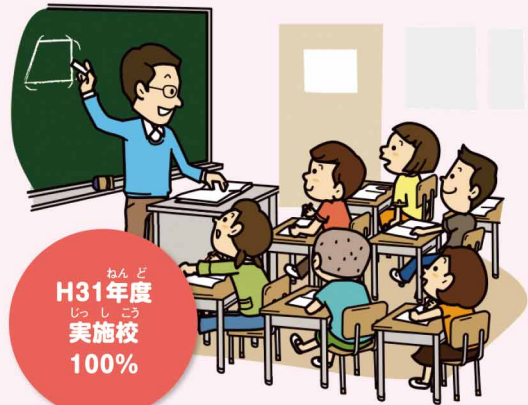
学問、スポーツなど
あらゆる分野で
活躍する、未来を担う
「さっぽろっ子」を
育てていきたいんだ

算数に一ごうプロジェクト事業

課題探究的な学習※の充実の一環として、小学校高学年を対象に、
個に応じた手厚い指導により算数学習への意欲や論理的思考力を
高めるため、25人程度の少人数指導の充実を図ります。

POINT

- 小学校高学年の算数では、小数の割り算など
複雑な学習内容が多くなり、苦手意識を持つ子どもが増加
- 教員が子ども一人一人に応じて
よりきめ細かな指導ができるよう25人と設定



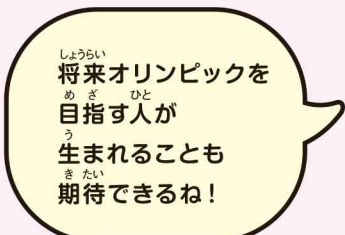
H31年度
実施校
100%

【事業費】5,200万円

※課題探究的な学習：児童生徒自らが疑問や課題を持ち、主体的に解決する学習。

(仮称) ウィンタースポーツ
塾事業

小学生を対象にフィギュアスケートやクロスカ
ントリーなどのウィンタースポーツを幅広く体
験できる「エントリーコース」と、高いレベルの
技術指導を受ける機会を提供する「エキスパー
トコース」を開設します。



将来オリンピックを
目指すが
生まれることも
期待できるね!

H29年度
開設

【事業費】5,100万円

児童養護施設等入所児童への
大学進学等奨励給付事業

児童福祉施設入所児童(里
親委託児童を含む)で、大
学などに入学するため措
置解除となる場合、進学に
際し必要な経費及び生活
費などについての措置費
を支給します。

H28年度
事業開始

【事業費】2,400万円



誰もが活躍推進プロジェクト

すべての人々が誰かに必要とされ、安心して暮らし、社会に参加できる街であるために、誰もがその持てる力を発揮し、活躍できる環境を整えます。

高齢者が福祉サービスなどを受ける側だけでなく、福祉のまちづくりの担い手などとしてサービスを提供する側となって、社会に貢献できる環境を整えていくよ



就業サポートセンター等事業

就業サポートセンター及び各区あいワーク※において、ハローワークと連携した職業紹介を行います。また、高齢者向けのセミナーや求人開拓などにより、高齢者の就業を支援します。

札幌市の高齢者(65歳以上)の就業状況

高齢者人口	41.7万人
有業者	6.2万人
無業者	35.5万人
うち就職希望者	2.8万人



※あいワーク：ハローワークと札幌市が協力して運営する就職に関する相談窓口。

出典：平成24年度就業構造基本調査(総務省)

【事業費】9億1,800万円

高齢者の社会参加支援の在り方検討

生涯現役社会の実現に向けた高齢者の社会参加支援の具
体策を立案するため、既存事業の検証・再構築を含めた検
討を行います。

移動支援の対象者拡大

障がいのある方の外出を支援する移動支援事業に
いて、身体障がいがある方(全身性障がい※)の対象
者要件を拡大することで、外出支援サービスのさら
なる充実を図ります。



【事業費】500万円

H29年度
基本方針
策定

「3肢以上に障がいのある方」から
「2肢以上に障がいのある方」へ
対象を拡大します

【事業費】49億3,400万円

※全身性障がい：肢体不自由の程度が身体障害者
手帳の1級に該当し、両上肢及び両下肢の機能の
障がい有る状態、またはこれに準ずる状態。



H28年度
対象拡大

重点課題4 魅力と活力にあふれた暮らしやすい街さっぽろをつくる

世界都市・道都の魅力向上プロジェクト

世界都市として多くの人々や
企業を引きつけるために、
時代の変化を的確に捉え、
新しい試みに大胆かつ果敢に挑戦し、
都市の魅力と活力を創造し続けます。



冬季オリンピック・パラリンピック招致事業

冬季オリンピック・パラリンピックの招致に向けて、招致委員会の
立ち上げや招致気運醸成、広報、各種調査、立候補ファイルの作成
などを行います。



POINT

2026年開催を想定したスケジュール

2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
招致委員会の立ち上げ・招致気運盛り上げ			開催準備・施設整備							
国内立候補 都市選定			開催地 決定							冬季五輪 開催
夏【リオ】		冬【平昌】		夏【東京】		冬【北京】		夏【未定】		冬【未定】

札幌駅交流拠点

まちづくり推進事業

北海道新幹線の札幌延伸を見据え、札幌駅周辺の魅力を高
めるため、(仮称)札幌駅交流拠点まちづくり計画を策定し、
北5西1・北5西2街区や関連施設の整備、周辺街区の事業化
に向けた検討に官民協働で取り組みます。

北海道新幹線は平成28年
(2016年)3月26日に新青森～
新函館北斗間が開業し、
平成42年(2030年)度末には
札幌まで延びることが
予定されているよ!



H29年度
まちづくり
計画策定

【事業費】9,500万円

次世代型エネルギー

タウン検討事業

低炭素社会と原発に頼らない社会の実現を目指す
ため、真駒内地区をモデルとしたスマートコミュニ
ティ※1や、将来的な水素社会※2を見据えた水素タウ
ンの在り方などを検討し、世界に誇れる次世代型エ
ネルギータウンのコンセプトを
平成29年度に提示します。

【事業費】
2,300万円



※1 スマートコミュニティ：電力、水、交通・物流、医療、情報など、あらゆるインフラの統合的な管理・最適制御を実現した次世代のコミュニティ。
※2 水素社会：家庭用燃料電池や燃料電池自動車など、日常生活や産業活動にクリーンエネルギーとして水素が本格的に利活用されている社会。

各区の関連事業

地域の特性を生かした
取組を進めていくよ



中央区 避難所運営体制づくりを支援します

住民、会社、小中学校、中央体育館、区役所による協議の場をつくり、避難所の自主的な運営体制づくりを支援し、全市的な波及について検討します。



豊平区 国際大会などを盛り上げる地元ならではの「おもてなし」を推進

札幌ドームなどスポーツ拠点の集積した区の特長を生かし、今後の国際大会などを盛り上げるべく、地域、企業、商店街などと連携して独自のおもてなし活動を展開します。



北区 ポプラ通の再整備などをを行います

ポプラ通の再整備、亜麻・藍栽培についての歴史の伝承など「歴史と文化のまちづくり」を一層進めていきます。



清田区 認知症家族の孤立を防止します

高齢化が進む清田区の認知症家族の孤立を防ぐため、認知症に関する講演会や地域の自主的な交流会の開催を推進します。



東区 札苗フラワーロードの延長整備などを行います

モエリ沼公園やさとらんどなど集客施設を美しい景観で結ぶため、札苗フラワーロードの延長整備を行います。



南区 健康寿命の延伸を図る取組を進めます

高齢化が進む南区において、健康障害に係る要因を分析し、その結果と予防法をイベントなどにより広く周知し、健康づくりへの理解と地域の自主的な取組を推進します。



白石区 白石こころーどにタイルアートを描きます

白石こころーどトンネル内に、地域住民の手により明るく夢のあるタイルアート（壁画）を描き、地域の魅力と住民の連帯感を高めます。



西区 宮の沢駅周辺の活性化を図ります

白い恋人パークや駅周辺のWi-Fi整備などを盛り込んだまちづくり計画を策定し、宮の沢のさらなる活性化を図ります。



厚別区 厚別中央市民交流広場・科学館公園を再整備します

区民祭りなどを行う厚別中央市民交流広場や科学館公園の老朽化に対応するため、再整備を行い、地域のにぎわいを創出します。



手稲区 知的障がいのある方への介護職員初任者研修を実施します

障がい者の社会参加を支援するため、区として先駆的に取り組んできた、知的障がい者を対象とする介護職員初任者養成講座をNPOと連携して実施します。



行財政運営の取組 ~仕事の進め方、お金の使い方の工夫~



行政運営の主な取組

市民力の結集に向けた取組

具体的な取組

企業と連携した見守り体制の充実

孤立死の防止のため、住民組織や宅配業者などの民間事業者と連携して重層的な見守り体制の充実を図ります。



企業と連携することでよりきめ細かい見守りが可能になるんだね

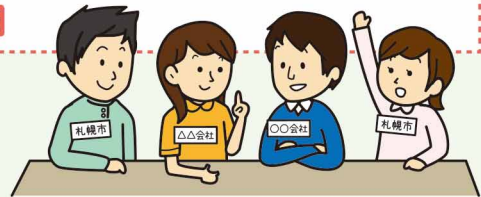


組織力・職員力の向上

具体的な取組

職員の民間企業などへの派遣・外部専門家の登用

民間企業・NPOなどへの派遣研修や共同研修を活用するなどして、市民感覚を大切にすることを職員を育成するとともに、市役所の専門性、政策立案力、組織力を向上させるため、外部専門家の登用を進めます。



しごとの改革

具体的な取組

住民票などのコンビニエンスストアでの交付の開始

個人番号カード※を使って、住民票などをコンビニエンスストアの端末で交付できるようにします。

※本人の申請により交付を受けることができる、住民票を有する全ての方に付番される12桁のマイナンバー（個人番号）が記載された写真付きのICカード



道内連携の推進

具体的な取組

広域連携による観光振興

幅広いニーズに応じた観光客誘致を進めるため、北海道の中核を担う道内中核市や石狩管内の近隣市町村などとの連携により、道内外へ向けたPR事業に加えて、道内や圏域内の周遊を促進させるような事業を共同で実施します。

「北海道の発展なくして、札幌の発展はない」という考えのもと、札幌と北海道が共に発展していくために、幅広い分野で道内連携を推進します



財政運営の主な取組

予算運営手法の改革

中期財政フレームの設定

計画期間における計画事業費と財源を明示した中期財政フレームを策定し、これに基づき予算編成を行います。



子育て支援、観光振興など、資源を重点的に配分した施策を確実に実施していくよ!

■中期財政フレーム2015（一般会計）

（単位：億円）

区 分		H27	H28	H29	H30	H31	合計
歳入	一般財源（臨時財政対策債を含む）	4,726	4,740	4,746	4,748	4,748	23,709
	国・道支出金	2,360	2,458	2,527	2,520	2,585	12,451
	市債 【臨時財政対策債を含めた場合】	474 [994]	684 [1,216]	627 [1,159]	540 [1,072]	499 [1,031]	2,824 [5,472]
	その他	1,400	1,424	1,419	1,418	1,416	7,077
	基金活用額	50	63	0	19	51	183
	合 計	9,010	9,369	9,319	9,244	9,300	46,242
歳出	経常的経費	6,857	6,883	6,918	7,042	7,161	34,861
	政策的経費（計画事業費）	2,153	2,486	2,400	2,202	2,139	11,381
	合 計	9,010	9,369	9,319	9,244	9,300	46,242
（参考）一般会計市債残高の見込		10,173	10,690	11,146	11,497	11,779	

※表中の数値は表示単位未満で端数整理しているため、これらの合計が表中の合計値と一致しない場合があります。

歳入・歳出の改革

事務の執行方法の見直し

市役所内部の努力により、効率的かつ効果的な運営に努め、コスト削減を図るとともに、効率的な職員配置を行うことなどにより、人件費の見直しを進めていきます。

受益者負担の適正化

公平性を確保するため、サービス提供のために必要なコストと料金のバランスを検証するとともに、国や他都市、類似施設と比較するなど、より適切な受益者負担とすることを目指します。

財政基盤の強化

収納率の向上

歳入の確保、負担の公平性の観点から、市税や国民健康保険料などについて、収納率の目標数値を設定して、収納対策などの強化に取り組みます。

公有財産の戦略的な活用

札幌市において利用が見込めない土地は、まちづくりに資する活用の可能性も考慮しながら、売却や貸付を促進します。



財政規律の堅持

市債の適切な管理

将来に過度な負担を残さないよう、可能な限り市債の発行額の抑制などに努めます。



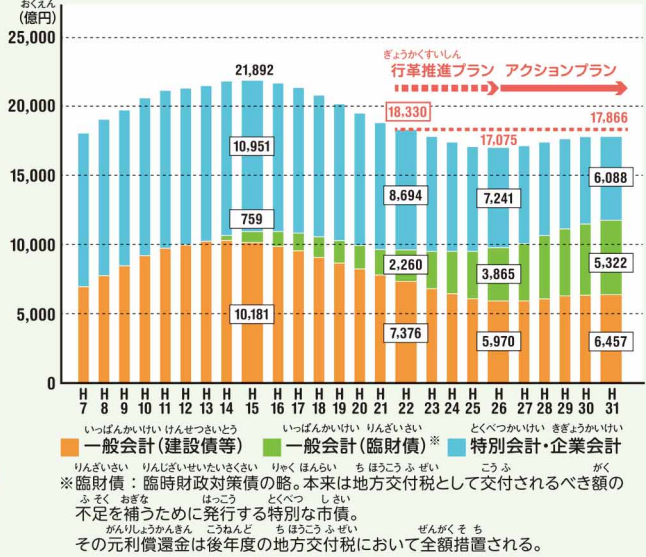
全会計市債残高(平成31年度末)は1兆7,866億円であり、前回プラン(行財政改革推進プラン)のベンチマーク※(平成22年度末)を下回っています

財政の健全性は一定程度保たれているということだね!



※ベンチマーク:財政の健全化を保つことを目的として、財務状況を評価・確認するための目安となる指標。

■計画事業費を反映した市債残高見込



基金の戦略的な活用

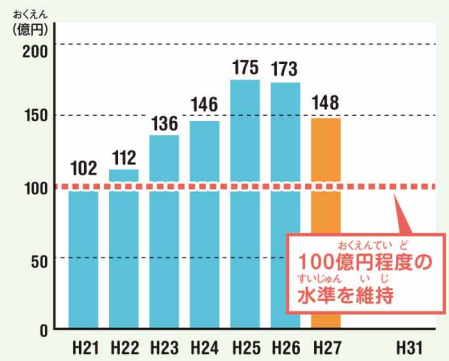
公共の利益のために必要な土地を取得するための基金や都市施設の整備などを進めるための基金を活用するほか、冬季オリンピック・パラリンピックの開催に向けた備えとして、基金の設置を検討します。



財政調整基金※については、平成27年度は148億円の残高見込みですが、プラン最終年度の平成31年度末残高で、100億円程度の水準を維持します

※財政調整基金: 経済の不況などによる収支不足などに備え積み立てておくもので、年度間の財政の不均衡を調整するための資金。

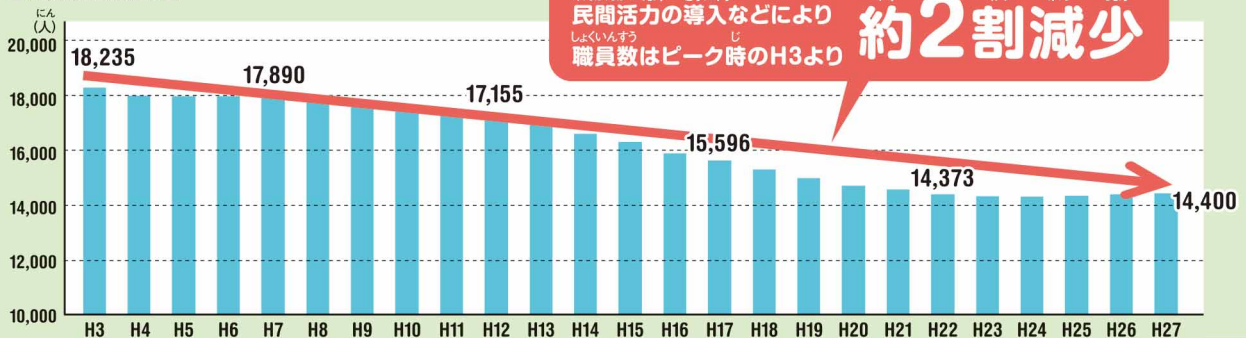
■財政調整基金残高の状況 (H26までは決算、H27は見込)



COLUMN これまでの取組

これまで民間活力の導入を図り、効率的・効果的に行財政改革の取組を進めてきました。その結果、職員数はピーク時から約4,000人減少しています。

■札幌市の総職員数



つづける、つなぐ、つぎへ



今後の厳しい局面を乗り越えていくためには、市民、企業、行政の
総力「市民力」を結集し、オール札幌で課題解決に取り組んでいか
なければなりません。

先人達が築き上げ、人々を魅了してやまない私たちの街・札幌。
多くの市民が好きだと思い、全国一と評される魅力的な街・札幌
であり続けたい、そして、その誇れる街・札幌を次の世代である子ど
もたちにつないでいきたい、そのような決意「つづける、つなぐ、つ
ぎへ」を胸に、私は札幌のまちづくりに取り組んでいきます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

札幌市長 秋元 克広



みんなでまちづくりに
取り組んでいこう!

問い合わせ先

■ 計画書全体 (行財政運営の取組を除く)

札幌市市長政策室政策企画部政策調整課

TEL 011-211-2206

FAX 011-218-5109

E-mail▶chosei@city.sapporo.jp

■ 行財政運営の取組について

札幌市市長政策室改革推進部推進課

TEL 011-211-2061 FAX 011-218-5194

E-mail▶kaikaku@city.sapporo.jp

札幌市財政局財政部財政課

TEL 011-211-2212 FAX 011-218-5147

E-mail▶zaisei@city.sapporo.jp

▶▶▶札幌市のホームページで札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015を公表しています

<http://www.city.sapporo.jp/chosei/actionplan2015.html>

